

平成十六年一月三十日受領  
答弁第一二二号

内閣衆質一五八第二二号

平成十六年一月三十日

内閣総理大臣 小泉純一郎

衆議院議長 河野洋平殿

衆議院議員長妻昭君提出政府系金融への天下りに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員長妻昭君提出政府系金融への天下りに関する質問に対する答弁書

一について

沖繩振興開発金融公庫、公営企業金融公庫、国民生活金融公庫、国際協力銀行、日本政策投資銀行、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫及び住宅金融公庫のうち、平成十五年十二月一日現在で、当該法人の長が国家公務員の経歴を有する者であるものは、八法人であり、それぞれの長の氏名、経歴及び就任の理由については、別表のとおりである。

二について

政府は、平成十四年十二月十七日に「道路関係四公団、国際拠点空港及び政策金融機関の改革について」を閣議決定したが、同閣議決定においては、政策金融機関に関し「民間人も含め改革に意欲のある人材の登用など適材適所の経営責任者任用等の措置を講じる」こととしているところである。政策金融機関の長の人選に当たっては、今後とも、この趣旨に沿って適切に対処してまいらる所存である。

## 別表

法人名	長の氏名	経歴	就任の理由
沖繩振興開発金融公庫	八木橋 淳夫	昭和36年4月 大蔵省入省 平成5年6月 環境事務次官 平成11年5月 沖繩振興開発金融公庫理事長就任	財政・経済等に関する幅広い経験・識見を有しており、また、民間団体等の勤務により、金融事情にも通曉し、加えて、沖繩開発庁の勤務を通じて、沖繩の情勢に精通していることから、沖繩の経済の振興と社会の開発を担う沖繩振興開発金融公庫の理事長として最適任と認められたため。
公営企業金融公庫	持永 堯民	昭和32年4月 自治庁入庁 平成2年7月 自治事務次官 平成11年6月 公営企業金融公庫総裁就任	公営企業金融公庫の業務に極めて深いかかわり合いをもつ地方財政について高度の知識と経験を有していることから、地方公共団体の公営企業等のための特に低利かつ安定した資金の融通を通じ、住民の福祉の増進を担う同公庫の総裁として最適任と認められたため。
国民生活金融公庫	薄井 信明	昭和40年4月 大蔵省入省 平成11年7月 大蔵事務次官 平成15年1月 国民生活金融公庫総裁就任	金融・経済・税制等に関する幅広い経験・識見を有しており、また、中小企業、自営業等の経営の実情についても通曉していることから、中小企業等の育成・発展という政策的課題を担う国民生活金融公庫の総裁として最適任と認められたため。
国際協力銀行	篠沢 恭助	昭和35年4月 大蔵省入省 平成7年5月 大蔵事務次官 平成13年6月 国際協力銀行総裁就任	財政・経済等に関する幅広い経験・識見を有していることから、今後の国際経済の発展を担う国際協力銀行の総裁として最適任と認められたため。
日本政策投資銀行	小村 武	昭和38年4月 大蔵省入省 平成9年7月 大蔵事務次官 平成13年1月 日本政策投資銀行総裁就任	財政・経済等に関する幅広い経験・識見を有していることから、今後の日本経済の立て直しを担う日本政策投資銀行の総裁として最適任と認められたため。
農林漁業金融公庫	高木 勇樹	昭和41年4月 農林省入省 平成10年7月 農林水産事務次官 平成15年10月 農林漁業金融公庫総裁就任	農林漁業・食品産業等に関する幅広い経験・識見を有していることから、農林漁業や食品産業の発展という政策的課題を担う農林漁業金融公庫の総裁として最適任と認められたため。
商工組合中央金庫	江崎 格	昭和40年4月 通商産業省入省 平成9年7月 通商産業省政策局長 平成13年6月 商工組合中央金庫理事長就任	その経歴や知見から、所掌する業務を管理・監督し遂行するのにふさわしい能力を有していることから、中小企業等協同組合その他主として中小規模の事業者を構成員とする団体に対する金融の円滑を図るという政策目的を担う商工組合中央金庫の理事長として最適任と認められたため。
住宅金融公庫	望月 薫雄	昭和34年4月 建設省入省 平成5年7月 建設事務次官 平成9年6月 住宅金融公庫総裁就任	住宅宅地行政等に関する幅広い経験及び知識を有していることから、住宅取得の促進に必要な資金の安定供給を通じて国民の住生活を向上させる役割を担う住宅金融公庫の総裁として最適任と認められたため。